

国の「脱炭素先行地域」に選定されました！

本市は、脱炭素社会の実現を目指し、市民・事業者と一体となって取組を進めており、代表例である「脱炭素アクションみぞのくち」などの取組が国に評価され、この度、「脱炭素先行地域」に選定されました。

本事業は、川崎市、脱炭素アクションみぞのくち推進会議及びアマゾンジャパン合同会社で連携して取組を推進していきます。

脱炭素先行地域とは

2030年度までに主に民生系の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロの実現並びに関連分野のCO₂の削減を目指す地域で、全国で少なくとも100カ所を選ぶ方針が示されております。

脱炭素先行地域に選定されると、地方公共団体等に対して「地域脱炭素移行・再エネ交付金」（5年間で最大50億円）が交付され、太陽光発電設備など再エネ設備の整備等に活用することができます。（交付額は今後決定されます。）

1 対象となる地域等

溝口周辺に所在する民間施設（脱炭素アクションみぞのくちの一部）及び市内公共施設群
※地域の指定類型として住生活エリア、ビジネス商業エリア、自然エリア等の面的な指定や施設群など点での指定の形があります。

2 取組内容

民間施設においては、アマゾンジャパン合同会社を含む「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」の会員企業と共同で、民生部門の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロに向けた取組を進めてまいります。

公共施設群については、CO₂排出実質ゼロに向けた取組や2030年度までに再エネ100%電力導入等の取組を進めてまいります。

3 今後の取組

事業実施に向け引き続き国や関係者と詳細な事業計画を検討してまいります。



脱炭素アクションみぞのくちについて



【問合せ先】

川崎市環境局脱炭素戦略推進室 市川
電話 044-200-1222

1 川崎市における脱炭素先行地域の取組等

(1) 事業推進主体

川崎市

- 令和2年11月に脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定
- 戦略策定日と同日に高津区溝口周辺地域を「脱炭素アクションみぞのくち」に設定し、脱炭素に向けた先進的な取組を実施

脱炭素アクションみぞのくち推進会議

- 令和3年7月に事業者・団体との協働により発足（令和4年3月現在の会員数は28）
- 先行地域に選定される前から脱炭素に関する取組を実施しており、共同連携体制を確立

アマゾンジャパン合同会社

- パリ協定より10年も早い2040年のCO₂排出ゼロを目指す等、脱炭素化の取組を意欲的に推進

(2) 対象とする地域の概況等

対象地域①

川崎市高津区溝口周辺に所在する民間施設群
(脱炭素アクションみぞのくちの一部)

(特徴) 大都市の中心部の市街地・交通要衝

商店街・商業施設・オフィス・業務ビル・
製造工場等が所在

対象地域②

川崎市のすべての公共施設群 (約1,000か所)

(特徴) 人口約154万人を擁し7つの行政区を設置
民生業務部門で市域最大の温室効果ガス排出事業者

(3) 実施する取組の具体的内容

民間施設における取組

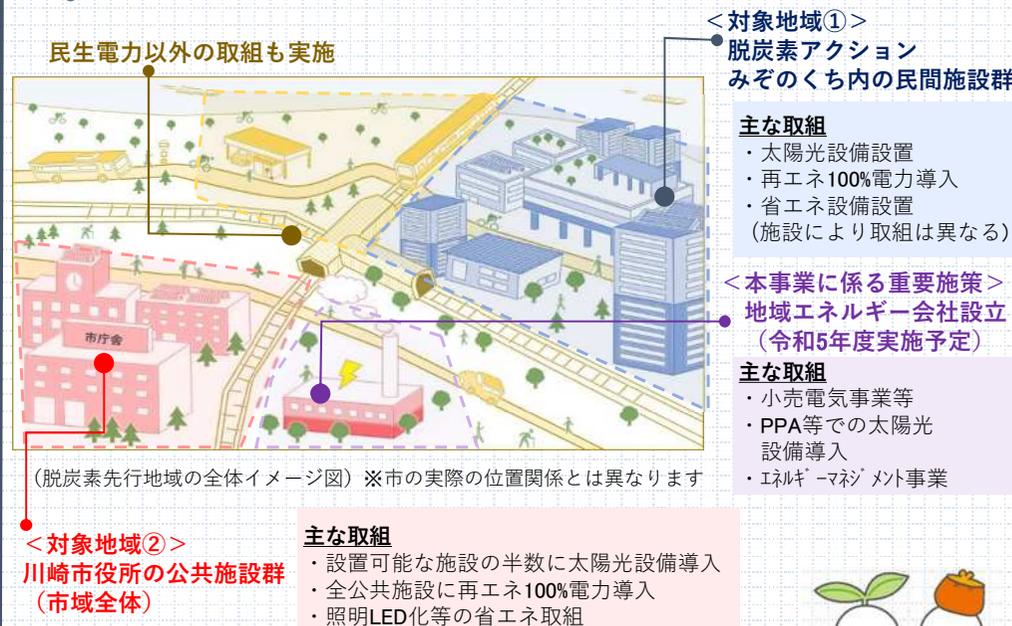
- 「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」の会員企業において、民生部門の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロに向けた取組を行う。

公共施設における取組

- CO₂排出実質ゼロに向けた取組や2030年度までに再エネ100%電力導入等を進める。

【参考】CO₂削減効果
民間施設群：約2.5万t
公共施設群：約11.1万t

脱炭素先行地域において進める取組の全体イメージ



脱炭素化推進

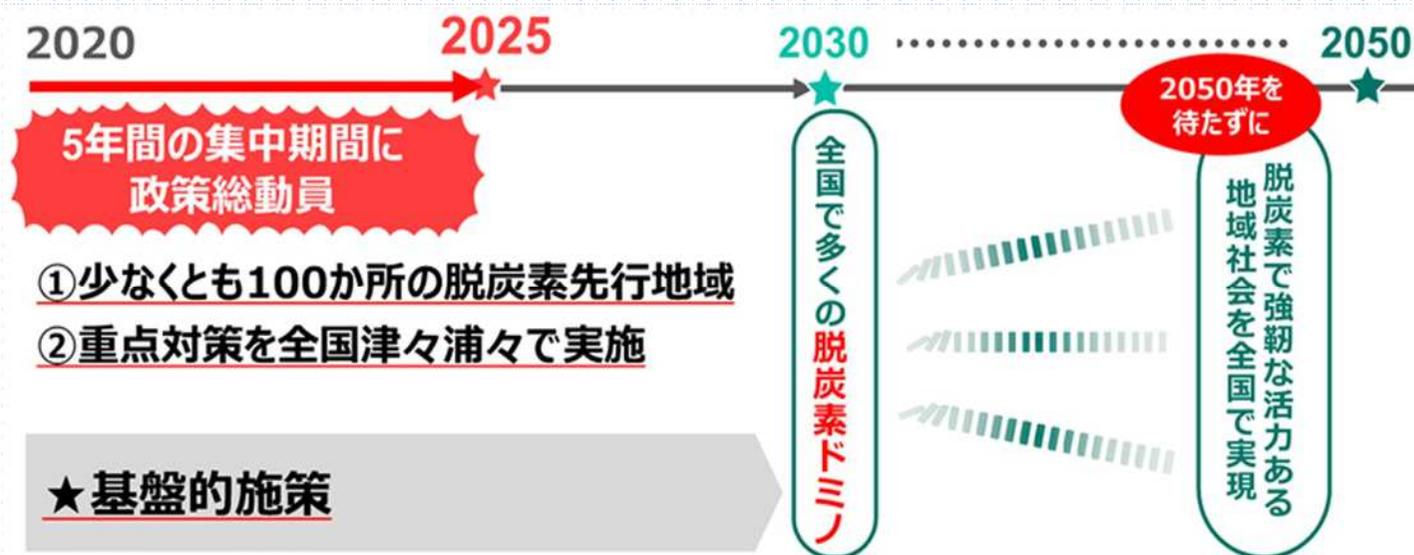


川崎市の交通要衝「みぞのくち」から脱炭素化をはじめ、
CO₂最大排出都市川崎、さらには日本全体への脱炭素ドミノを引き起こす

☆脱炭素先行地域とは

Point 1 地域脱炭素ロードマップの策定

- 令和3年6月に国が公表した「地域脱炭素ロードマップ」では、地域の豊富な再エネポテンシャルを最大限活用し、今後5年間の集中期間に政策を総動員し、2025年度までに「少なくとも100か所での脱炭素先行地域の創出」を目指すとしている。



Point 2 脱炭素先行地域の趣旨・概要

- 2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（各家庭や事業者等）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、その他の温室効果ガス排出削減についても、国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する「脱炭素ドミノ」のモデルとなる地域
- 令和3年度末に第1回目の募集があり、令和4年から開始される制度（募集は年2回程度）

脱炭素先行地域選定に対する市長コメント

本市は、脱炭素社会の実現を目指し、市民・事業者と一体となって取組を進めており、その代表例である「脱炭素アクションみぞのくち」などの取組が国に評価され、この度、「脱炭素先行地域」に選定されました。

高津区溝口周辺は大都市圏の地域生活拠点・交通要衝であるため、全国の中核となる都市の取組モデルと考えております。

SDGs 未来都市として、本市の脱炭素に向けた取組が全国を牽引するものとなるよう、関係者と力を合わせ、進めてまいります。

川崎市長 福田 紀彦

<問合せ先>
川崎市環境局脱炭素戦略推進室 市川
電話 044-200-1222